

NPO 法人 やまぼうし自然学校

ニューズレター 2010年

夏号



森と畑の恵み、さらにおいしくなあれ(大人の風まかせキャンプにて)

代表理事よりご挨拶**



加々美貴代(がみちゃん)

キャッチフレーズ「森とつながるいのちのわ」

森と無意識につながる受動的な恩恵の数々。空気・水・・・・

あなたはいくつ挙げられますか？今年の夏は誰もがおかしいと感じた異常気象。今こそ、能動的に森とつながり、自分たちの生きる地球のことを考えてみよう。森では想像もつかない程の生き物の連鎖が、太古から様々な変化を加えつつも、連綿とその世界を築き上げてきた。私たちの世紀で壊してしまわないように。生物多様性条約第10回締約国会議が日本で開催される。「森とつながる」よい「きっかけ」になることを願う。

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

スタッフよりひとこと



瑞慶賢明子(ずけちゃん)

2時間の大画面「踊る大捜査線」に興奮しました。都会の若者がゲームのごとく人を殺し、画面を通して警察をあざ笑う。逮捕の瞬間、「オレみたいな、いっぱいいるよ。」とほくそ笑む言葉が印象的。映画館を出ると、実体験の大きさがじんわり心に満ちたのでした。



佐藤明希(あつきい)

「よし、やってみよう！」「ええっ、いいの？」思いつきが実現することを知り、目を輝かせる子ども達。星空を見上げて、ゴロン。「他の星からも、こんな風に見えるかもね」「くつつくとあったかいね」。子ども達、大人達のアイデアを受け止めてくれる菅平の大自然にありがとう。今度は何する？むふふいふふ。



武重芽里(めりちゃん)

「喉元過ぎれば・・・」を実感する、涼し寒い菅平は秋まただ中です。猛暑の中を子ども達と走り回ったサマーキャンプが過ぎた後、反動で、数日間頭が真っ白に。段々色づく森に入り、新しく染められていく筈です！？



西澤純子(じゅんじゅん)

8月、やっと菅平にもどってきました。我慢の日々が終わり、じわりじわりと活動開始。カモシカのように走り回ることはできないけれど、みんなの笑顔と自然のパワーに後押しされて、日々回復する自分の膝を感じています。目標は筋力回復と正座と山登り！あせらずゆっくり目指します。



保母裕美(ほぼちゃん)

猛暑と少雨だった我が家の畑では例年になくナスがあまりならず。いつもの夏なら消費するのが間に合わないくらいなのに料理番としては無駄にしないで良かったなあと思いきや、ここへきてなすが息を吹き返し1日30個ペースの収穫。鉄火味噌、漬物、揚げナス、焼きなす、あんかけ、お味噌汁、マーボナス、なすナポリタン、なす焼きそば、なすカレー・・・もう、思いつきません。



石川順子(じゅんちゃん)

彼岸をすぎ、ようやく秋の気配。外出は日傘必携。汗をぬぐい、日蔭や冷房の効いた建物に逃げ込むのに必死だった猛暑さ中では気づかなかったが、都内の街路樹や植栽には「茶色」が目立つ。大きな植木鉢に植えられたのと同じ都会の植物はこの夏の異常な暑さにやられ瀕死の状態だ。ゲリラ豪雨はあったが、夕立はなかった奇妙な夏が終わった。



仲川好乃(よっちゃん)

今年の猛暑で蚊の幼虫が死んだから、蚊の発生が少なかったんだって。人間にも大きなダメージを与えたよね～。生物多様性オフセットって・・・人間の生態系もオフセットされるのかな～？と娘の一言



長谷川功(はせじい)

今年も残り3カ月。混沌とした世の中、何を信じて生きていけば良いのでしょうか。先行き不透明な今こそ、森が一番！老若男女が自然と一体になって活動出来れば言うこと無し。三権の長達、子ども達を自然の中へ連れ出そう！そのきっかけづくりを、やまぼうしの来年の目標のひとつとしたい。

いろは 遊び隊へ

今年の4月、娘の彩葉(いろは)がピカピカの一年生になり、新しいことや広がる行動範囲に臆することなく、興味を持ってチャレンジしたい気持ちが育ってきました。日々の生活では“遊び場”がほとんどなくなってしまい、お友達の家に行ってもおもちゃやゲームをするか、自転車で駆け回る程度。お兄ちゃんお姉ちゃん達に混ざって、遊びを教わったり競争したりという経験ができたらと考え、遊び隊デビューしました。

母 初めての遊び隊の日はどうだった？

娘 あんまり緊張はしなかったよ。ななちゃん(保育園から一緒の同級生)も一緒だったし。みんなはかくれんぼとかしてたけど、いろはとななちゃんはブルーシートでじっとしてたよ。でも、川へ行って遊んだ後は、あっきいとよもぎ取りしてまた川に行っている間に、よもぎ蒸しケーキを作ってくれて食べたらいしかったよ。

母 次は春のキャンプで、おうちの人がいらない初めてのお泊りで大丈夫だった？

娘 ぜんぜん大丈夫だったよ。テントを作って、川で遊んでびしょびしょになったよ。大きな子達が大きな石を踏み台にしてちょっと小さい子を引上げて、押し上げて滝を登らせてくれた。でも、いろははやらなかった。それから葉っぱで舟を作って長く流す競争をして遊んだよ。テントの中ではすぐに眠れたよ。起きたときはみんなあっちこっちに向けて面白かった。一番おいしかったのは、ピザとゼリー。ウィナーを切っているときつまみ食いしてね、生でもおいしいんだよ。

母 3回目は森遊びだったけど、何したの？

娘 広場から森の中へ入ってって川を作って水を流した。きれいな川のところに靴の洗い場を作ったり、橋が壊れたから直したり。“くつのあらいば”の看板を枝で作ったけれどちょうどいい“つ”の字の木がなくて完成しなかった。きれいな川だったのに男の子たちがぐちゃぐちゃして汚い川になっちゃったの。

母 長い夏休みの後は秋のキャンプに行ってきたね。どうでしたか？

娘 一番面白かったのはドラム缶風呂の水をバケツリレーで運んだこと。ゴミ箱をバケツにして、「ゴミバケチ！はい！ツケモノダル！はい！マイバケチ！はい！」って言いながら運んだよ。あとは火遊びしたのが面白かった。

母 火熾しじゃないの？

娘 火熾しはやらないよ。火遊びは草をいっぱい入れて、煙を強く出してニセグモ作りをするの。火バサミで中の炭を入れたり出したりするの。木の棒に火をつけて、水道で水をかけてジュウって音がするの。棒の先をいっぱい燃やしてから水をかけるのを繰り返すと、そのうち流しの中にポトンと落ちるの。あと、焼きマシュマロがおいしかった。枝の棒にマシュマロをさして火があぶって、ちょっと歯でさわってカリッとしたらできあがり。そのマシュマロの外がカリカリで中がトロトロフフ～なのがおいし～いんだよ。いっぱい食べたいのにひとつしか食べられなかった。家でも作るうよ！

母 そうだね。上手に焼けるようにいっぱい作って練習して、10周年の遊び隊屋台でマシュマロやさんやってみたらいいね。

娘 それは、無理むりムリ・・・

まだ、他の隊員のお名前も覚えられなかったり、慎重になっているところもあるようですが、少しずつ遊びを通して楽しかったりつまらない気持ちを感じたり、成長を楽しみにしています。

遊び隊は、みんなが隊員全員と遊んだなあと思えるくらい仲間意識を持ち、いつかは隊長になってその日の遊びを率いる力をつける、一年を終えたときそんな活動だったなと振り返ることができれば私は思います。菅平のフィールドを自由に使って、やまぼうしスタッフの助けを遠慮なく使って、大きく強くなってほしいです。



文・保母裕美

イベントレポート 東京支部

【親子でチャレンジ 樹木博士 10.08.22】

新宿中央公園にて、「親子でチャレンジ 樹木博士」を実施しました。子ども樹木博士とは、子どもを中心に多くの人々が樹木の名前を識別できるようになり、これをきっかけとして森林に親んでもらうことを目的としたプログラムです。子ども樹木博士に認定されるためには、試験樹種の生えている場所を観察しながら歩き、樹種の特徴を覚え、識別テストを行います。正解数により(社)全国森林レクリエーション協会からの認定証が授与されます。



文・小宮英之
(08年度講座受講生
やまぼうし自然学校イン
タープリター)



今回は小グループに分かれたので、参加者同士も話しやすい人数でした。話す内容について、準備はしているものの、本当に伝わるかなあ、と少し不安もありました。しかし、観察がスタートすれば、とにかく全員にわかってもらうということを念頭に、話を進めました。

はじめに紹介したのは、イヌビワコバチ。少し難しいかなとも思いましたが、興味深げに聞いてくれて驚きでした。観察が進むにつれ、最初は控えめだった子ども徐々に熱が入ってきて、自分から植物を探したり、チョウやセミを見つけて質問も飛び交いました。全部答えてあげたかったのですが、時間が無くてごめんねという気持ちで、「自分で調べてみよう」と提案させてもらいました。



今回試験対象になる樹種は10種類。イヌビワ、マテバシイ、イロハモミジ、アオキ、メタセコイア、スダジイ、アオギリ、イチヨウ、クスノキ、サクラ。一年生には難しかったかもしれないという感想もありましたが、試験中は、大人も子どももとても真剣な表情で、樹木に対して興味をもってもらったのだなあ嬉しく思いました。子どもと一緒に勉強できて貴重な体験だったという保護者の声や、樹木を大切にしたいと思ったという声、もっと他の樹種もチャレンジしたいという感想も聞かれました。私自身も、参加者から多くの事を学ばせていただいた一日でした。



森でモリモリ遊び隊

6月19日、20日 春の遊び隊キャンプ ドキドキの一泊キャンプ。
苦戦しながらも協力してテントを張った後、クラフトも、沢遊びも、
五右衛門風呂も、焼き火料理も、怖い肝試しも楽しかったね！
7月4日 森遊び 前日の大雨もなんのその。遊び隊にかかれば、
どろんこ遊びと大がかりな川工事、笑いの止まらないブランコと
アイデア満載。クロサンショウウオも見つけました！



壮大な計画の川工事！



ヤマブドウノ蔓はブランコに



大きなクロサンショウウオ



沢遊び、冷たくって最高！



縄文火熾しも、頑張ったよ～



新記録の6人五右衛門風呂

フォレストキッズ

6月19日 雨の日のクラフト

雨の合間をぬって外に！目的はカラスノエンドウの鞘。笛を
作りたかったのですが、残念！全部鞘ははじめていたので色々な
形の割り箸鉄砲に挑戦！よく飛ぶのは、この形？

7月19日 早朝の森ウォッチング

早朝の森で
たくさんのお宝を
発見！！でも、
今日の一番は
どろんこ遊び
かな？



雨の合間をぬって...



割り箸鉄砲作りに挑戦！



早朝の森の収穫は？



早朝の森で見つけたアート



長ぐつ探検隊に早変わり！

体験学習レポート

パール幼稚園様 森遊び (2010.7.16 @クロサンショウウオの森)

お揃いの運動着、クラスごとにつばの色が
分かれたかわいい帽子、そして長ぐつ。元気
一杯のパール幼稚園の皆さんが、菅平高原の
クロサンショウウオの森に遊びに来てくれ
ました。

昨年、HP でやまぼうし自然学校を見つけ
ていただいてから温めていた、森遊びプロ
グラム。幼稚園の保育理念である、子ども達の
感性を育み、可能性を広げるということに、
森のパワーを取り入れてくださったうれし
い事例をレポートします。



注意する植物や蜂の話聞いてから、いっせ
いに森に散らばった子ども達。初めてのノコ
ギリも、友達の協力を得ながらどんどん挑戦
します。切った枝で何かを作るというよりは、
切ること自体を楽しんでいました。

高い木にブランコを作りたい！とい
うことになり、紐の先に重りをつけてビュン！
うまく枝に紐がかけると、一斉に歓声があが
りました。順番にブランコに乗り、森の風になる
心地よさを存分に味わっていました。

自分の体と同じくらいのスコップは、川工事
の道具に変身。2人がかりで挑む子、1人で、
もくもくと掘り進める子、水を堰き止める子、
反対にトンネルを掘って水を流す子・・・
それぞれのこだわり、個性が見え隠れして
とてもおもしろかったです。

ひとしきり遊んだら、みんな真っ黒！それ
を「よく遊んだね～」と笑い飛ばしてくれる
先生。楽しかったひとときに、共感してくれ
る大人がいるというのは本当に素敵な事。
子ども達がのびのび育つのに欠かせない
存在です。プログラムの様子は幼稚園 HP
(<http://fanfunfan.blogspot.com/2010/07/nativecamp.html>) でもご紹介いた
だきました。

ぜひまた菅平の森と一緒に遊びましょう。



「お～い、森！」～森だくさんな講座～

森からのエネルギーに後押しされて、お～い、森！講座、元気に開講中です！

今後の開講スケジュール

参加費 各回 3,000 円

- 10月16日(土) 先人の知恵に学ぶ、炭焼き体験～炭のかきだしと窯ピザ～
- 10月17日(日) 真田の翁と歩く、キノコ狩り&キノコ料理
- 11月6日(土) 森の恵みでかご編みに挑戦～自然の蔓で生活に彩りを～
- 11月7日(日) やまぼうし流干し柿づくり～秘伝の干し柿づくり～



森を楽しむ講座～森林インストラクターを目指す、月イチ講座～

10月、11月の講座は、長野会場と同じ会場で行います。森の季節の移ろいを楽しみながら学んでいきます。

今後の開講スケジュール

参加費 各回 3,000 円

- 10月16日(土) 炭焼き・窯ピザづくり(林業・実技)
CONE 理念説明、やまぼうし登録インストラクター制度説明
- 10月17日(日) キノコ狩り&キノコ料理(林業・実技)
- 11月6日(土) 蔓とり&蔓細工(野外活動・実技)
- 11月7日(日) 2次試験対策セミナー
チェーンソー安全講習会・薪割り・ジャンボクラフト

いちおし自然体験

草・木の根・岩がすべて雪の布団をかぶる真冬の菅平。サングラスなしではまぶしすぎる太陽の照り返し。空に向かってぐーんと伸びる枝の雪は揺れながら輝き、地面に届かんばかりのツララはまわりの風景を包み込む。

想像してください。アメンボになった自分を。白銀の世界を、縦横無尽にスイスイと。遠くの風景がぐっと近くなり、木に寄りかかればパウダースノーの心地よいシャワー。たぐり寄せた枝先の氷が、キーンと喉を潤します。

スタートダッシュで転んでも、心配ご無用。やまぼうし自然学校スタッフが、靴のはき方から歩き方、転んだときの起き上がり方を懇切丁寧に指導します。

上達の早いアメンボたちは、あっという間に白銀のかなたに散らばることでしょう！冬の楽しみは、積雪よりも奥深いのですよ。菅平高原で、三種の神器(板、靴、ストック)そろえてお待ちしています。

クロスカントリースキー

2時間 1,575 円～ レンタル代別



+++++会員と読者の交流ステージ+++++

自然写真家 辻中隆志さん(インストラクター会員)より、写真展のお知らせ
日本風景写真家協会「小布施展」
日時:2010年10月6日(水)～12月13日(月)10:00～19:00((火)は17:00)
場所:小布施町櫻井甘精堂 「小さな栗の木ホール」

NPO法人「木曽川・水の始発駅」の湯川喜義さん(インストラクター会員)より、秋の木曽を楽しむイベントのご案内

こだまの森 秋の感謝祭 同時開催 糸ノコおもちゃフェスティバル
当地自慢の「御嶽白菜」などの野菜販売やフリーマーケット、ミニSL など
指定間伐材を使った「糸ノコおもちゃ」の出来栄は、一見の価値ありです！
日時:10月10日(日)10:00～15:00
場所:こだまの森、味噌川ダム防災資料館(木曽川源流ふれあい館)

伝統工芸「お六櫛」製作体験と錦秋の中山道鳥居峠越え

木曽川の水が生まれる木祖村で伝統工芸を体験し、紅葉の鳥居峠を越えの旅を通じて、木曽の歴史や文化に触れ、秋の味覚を楽しみます。

日時:10月15日(土)～16日(日)
場所:木祖村

お問い合わせ : NPO法人 木曽川・水の始発駅 <http://www.482eki.com>
e-mail info@482eki.com tel/fax 0264-36-2772

これ、ななんだ？

この夏も、森で、キャンプでたくさんのおもしろいものに会いました。どれもこれも、第一発見者は、思わず「わぁ、みたい！」って叫んでしまいました。さぁ、その「 」に入る言葉とその正体、なんだかわかりますか？



答え

※本当は、〇〇に入る言葉は正解ではなく一例です★あなたの感じた〇〇をぜひ教えてください！

- ①「クマみたい！」：正体は木の枝が落ちた跡
- ②「人間の顔みたい！」：やまぼうし菜園のシヤカゲモ
- ③「コンマ君みたい！」：キノコ（イナカササゲの一種）
- ④「魔法にかかって眠っちゃったクマみたい！」：コケに覆われた大きな岩

やまぼうしインプリ発信



木曽も長野県ですよ！： 柳川浩司

やまぼうし自然学校インタープリター
上高地ネイチャーガイド
NPO 法人木曽川・水の始発駅の発起人の1人であり、地元赤沢をこよなく愛するインタープリター。やわらかい方言の混じるガイドと笑顔が素敵な方です。

はじめに

木曾在住の柳川です。2003年度インストラクター養成講座の受講生ですので、やまぼうしのおつきあいは、かれこれ8年になります。8月末にやまぼうしの2010年「森を楽しむ講座・おい、森！講座」が木曽・赤沢自然休養林で行われ、講師を依頼され案内しました。私が受講した8年前は受講生が70～80人もいて、スタッフのズケちゃんは同期生です！現在、私は木曽郡木祖村（木曽川源流の村です！）を拠点に、NPO法人木曽川・水の始発駅の活動や、やまぼうしの上高地ガイドの仕事をやらせていただいています。木曽というと、東・北信とはあまり結びつきがなくて、長野県でないと思っている人もいますが、れっきとした長野県ですのでよろしく！！

木曽赤沢自然休養林のガイドを通して

毎年やまぼうしの講座では木曽・赤沢を訪れ、日本三大美林にも数えられる樹齢300年の木曽ヒノキ林を巡っています。木曽が長野県でないように思われるのは、木曽川が伊勢湾へ向かって流れ、地理的にも名古屋と結びついている上に、江戸時代260年間も尾張藩に属し、歴史的には岐阜・愛知県と深くつながっていたからと思われます。今回のガイドで、特に心掛けたことは、森林・樹木のガイドでは、普通は気候・地形・土壌など自然的な条件が主になるはずですが、木曽の森林の場合は長い間の人間の営みがこのような特徴ある森林



を作ったという、歴史的な条件を伝えようとしたことです。学術研究路「奥千本」の見事なヒノキ林の裏側に、為政者と一般民衆の山に関わるさまざまな思いや汗や涙がみられるということです。ただ今回受講生が一番興味を持ち活発だったのは、ヒノキとサワラの木の違いを樹形・樹皮・葉・球果などを実際に比べてみた時で、ガイドとしての自分の思いを伝えるのに、もっと工夫しないといけないと感じています。

やってみて！野外レシピ

木曽のヒノキ林が無くなる？

さて赤沢学術研究路を「千本立」から「奥千本」へ歩いていくと、ヒノキ林の林辺には50～70cmほどのアスナロの幼樹がびっしりとはえ、また林内にも2～3mほどのアスナロの若木がどんどん育ってきています。ヒノキとアスナロの幼樹ではアスナロの方がより耐陰性（光が少なくても育つ力）が強く、ヒノキの林床でもヒノキに代わってアスナロだけが育っているという現象が、赤沢では起きています。将来、今のヒノキ林が伐られるか寿命となった時、このままだと木曽のヒノキ林が無くなり、すべてアスナロ林になっている可能性もあります。自然更新だからそれがより自然だという考えと、木曽のヒノキ林を残すためにはアスナロを除伐していくべきだという2説ありましたが、現在、森林管理署では後者の方針だそうです。しかしアスナロの勢いは相当強く、うまく更新しながら木曽ヒノキを守っていくのはなかなか難しそうです。立派な森を作っていくには、長い時間と労力・資金・強い意思が必要ということです。



おわりに

自分は、縁があってやまぼうしと出会い、勉強したりいろいろな人と知り合ったりする中で、興味関心が変わり性格が変わり、最後には人生が変わりました。



去年3月で県の教員を辞め今のような生活になりました。2年前の秋に、泊まりがけのやまぼうしの交流会で、「教員を辞めて自然と触れ合うような生活をしていきたい。」と話したところ、「それがいい、それがいい。」とやまぼうしの皆さんが(けっこう無責任に)励ましてくれて、今の生活があります。なんとかなるもので、毎日忙しく、充実した気持ちで日々暮らせています。木曽を中心に活動するようになり、菅平にはなかなか行けなくなりましたが、これからもやまぼうしとのつ

ながりを持ってやっていこうと思っています。

型も手づくり！秋の紅葉スープ



抜き型をつくる

1. 0.3～0.5ミリの厚さのアルミの板を、2.5センチ幅にカッターで切る
2. 定規を当てて折ったり、円筒形のもの(スティックノリなど)をあてて曲げて整形する
3. つなぎ目を瞬間接着剤でしっかりとめる



スープをつくる

4. ニンジン他、材料を収穫！
5. 薄く輪切りにしたニンジンに、よく洗った型を押し当てて型を抜く
掌が痛くなるので、手袋をはめたり、板を型の上に乗せて押し当てると good！
6. その他の旬の野菜たちも、食べやすい大きさに切る
7. 煮えにくい野菜から鍋に入れ、火にかける
8. 型抜きニンジンが崩れないように注意しながら、かき混ぜ、味付けをする
(今回はコンソメと塩、こしょうにしました)
9. 彩りよく盛り付けて、いただきます！

菜園便り

菅平高原は、朝夕や雨の日にはストーブが恋しい低温となってきました。やまぼうし菜園の近況をお伝えします。

自然体験の森では、トウモロコシとジャガイモの収穫が盛況のうちに終了しました。キュウリも終わりに近づいています。ミニトマトは低温の中、色づこうとまだまだ頑張っています。旬は、ニンジンです！先日の大人の風まかせキャンプで初採りを賞味し、大好評でした。10周年イベントで、皆さんにも味わっていただけたと思いますので、お楽しみに。ブロッコリーやキャベツは10月下旬を目指して生育中です。

真田の西澤農園では、ナスとピーマンが大豊作で、今でも収穫出来ます。今後はサツマイモと里芋に、期待しています。そして地野菜の青大根の生育がどのように変わっていくか、見守っているところです。

キャンプや体験学習の食材や収穫体験にと計画している菜園ですが、この地での耕作経験が不足しているのと、お天気次第ということもあり、なかなか計画通りには育ってくれません。来年は種類を増やし、焚き火料理のメニューがさらに豊富にできるよう、頑張ります。皆様からのご指導ご鞭撻をお待ちしています。

(文・長谷川 功)



「訪冬」
池田まさ子・画
パステル

佐久市在住。やまぼうし会員の奥様。森の温かみに触れたことがきっかけで始めたパステル画。やわらかい色彩とタッチは、本人からにじみ出たもの。毎月届けられる作品を楽しみにしている保育園もある。

9月18日のイベント「秋の森散策とパステル画体験」では、講師をお願いしました。「何かを描こうとしなくていいですよ。森を歩いた時に感じた気持ち、リスに出会ってうれしかった気持ちなどを、色遊びをしながら、ぴったりの色を見つけて表現していくんです。」と。色を重ねて生まれる色、コットンや指でぼかして生まれる色など、「色遊び」の楽しさを存分に味わうことができました。「上手下手なんて関係ないですよ。自分が満足すればいいのですから。」という言葉も印象的でした。

イベント情報

やまぼうし自然学校 10周年記念イベント

私たちが菅平高原に根を下ろして、おかげさまで10年が経ちました。会員の皆さん、地域の皆さん、お父さん、お母さん、森好きな仲間、学校の先生、そして子ども達との出会いに支えられた10年でした。この先もたくさんの可能性が広がる菅平高原の大地と、子ども達、大人達とのつながりに感謝をこめて、おいしい、楽しい10回目の誕生会を開催します！

10月9日(土)、10日(日)

10:30~15:00 / 9:00~15:00

9日(土) @菅平高原 自然体験の森
(参加予約不要、入退場自由)

10周年記念セミナー
地元の間伐材を活用！ 焚き火料理ふるまい
菅平高原のうまいもの店
森でモリモリ遊び隊の楽しい 遊び隊屋台
乗馬体験 クラフト体験・販売
ギネス記録に挑戦！ など



長野本校

両日 入場無料！

飲み物、軍手タオル、防寒着
をお持ち下さい
根子岳登山には、雨具、帽子
(あれば登山靴) も必要です

10日(日) @菅平高原一帯
(参加費無料・要予約)

やまぼうし自然学校代表がみちゃんと行く！
秋の森散策
花の百名山！ 根子岳登山
芸術の秋を満喫！ クラフト体験
記念植樹

炭焼き&窯ピザづくり

地元の間伐材を利用して焼いた炭のかきだしと、あつあつピザ！

日時 10月16日(土) 10:00~15:00
集合場所 上田市菅平高原 自然体験の森
参加費 参加費 大人 3,000円、小学生以上 2,000円
(キノコ狩りと2日間参加の場合、2日間特別価格大人 5,500円、小学生以上 3,500円)
昼食代、指導料、資材費含む

長野本校

やまぼうし自然学校の会員の方は・・・ 長野本校イベント 毎回参加費50%割引(半額!)
 首都圏イベント 毎回参加費10%割引!さらに、3回参加で次回50%割引

きのこ狩りときのこ料理三昧

きのこ名人と行く、とっておきの山歩きときのこ料理三昧

日時 10月17日(日) 10:00~15:00
 集合場所 上田市真田町傍陽 入軽井沢館
 参加費 参加費 大人3,000円、小学生以上2,000円
 (炭焼きと2日間参加の場合、2日間特別価格大人5,500円、小学生以上3,500円)
 昼食代、指導料、資材費含む
 申込締切 10月13日(水)

長野本校

女性のための、女性によるアウトドア体験 森時間 in 菅平

あわただしい日常や街の喧騒から離れ、森の中でゆるゆるデトックス&リフレッシュ!

日時 10月23日(土)10:00 菅平高原集合 ~ 24日(日)13:30 菅平高原解散
 場所 菅平高原(宿泊は菅平高原のペンションです)
 参加費 参加費 28,000円(現地までの交通費は含みません)
 定員 15名(デイキャンプ初心者女性の女性限定!)
 内容 女性スタッフによる 森林散策、早朝バードウォッチング、アウトドア・ヨガ、
 ワンパーナークッキングランチ、アロマハンドクリーム作り 等
 詳細 <http://ameblo.jp/team-kok/entry-10647303462.html>

長野本校

信州の名人に習う 蒟蒻づくり

「芋が、こんにゃくになるまで」の全容がわかる、驚きと発見の一日!

日時 10月30日(土) 10:00~14:00
 場所 黒川青少年野外活動センター
 参加費 参加費 大人3,000円
 定員 25名
 申込締切 10月 27日(水)



東京支部

やまぼうし流、干し柿づくり

ひとつつまめば、止まらない!パクパクいけちゃう干し柿づくりを伝授

日時 10月30日(土) 10:00~14:30(予定)
 場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務所
 参加費 2,000円

長野本校

手づくりこんにゃくと 絶品ダレ3種

名人に習うこんにゃくづくり菅平編!こんにゃく料理のレパートリーも広がります

日時 11月20日(土) 10:00~14:30
 場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務所
 参加費 2,000円
 申込締切 11月17日(水)



長野本校

6, 7, 8月の実施事業

おーい!森 講座・森を楽しむ講座

おーい!森 講座(6月5日、6日(東京都合同) 8月7日、8日(東京と合同) 8月28日、
 29日(東京と合同) 長野)
 森を楽しむ講座(7月3日、4日 東京)

体験学習

鴻巣市立鴻巣中(6月2日、3日、4日) 埼玉県立川口高(6月2日) 伊奈町立伊奈中(6月3日、4日) 穎明館中(6月3日) 我孫子市立久寺家中・菫蒲町立菫蒲南中(6月4日、5日) 伊奈町立小針中(6月7日、8日) 東京国際学園高等部(6月9日) 野田市立福田中・鴻巣市立吹上中(6月9日、10日、11日) 流山市立東部中(6月10日、11日) 柏市立光が丘中(6月11日) 法政河野巣市立大学(6月13日) ゆずりは学園(6月15日) 西東京市立東伏見小(6月15日) 西東京市立芝久保小(6月17日) 大田区立矢口小(6月25日) 東京共学学園(7月1日、2日) 松本市立梓川中(7月8日) 鶴ヶ島市立西中(7月8日、9日) 安部学院高(7月14日) 篠ノ井西中(7月15日) 普蓮学園(7月15日、16日) パール幼稚園(7月16日) 所沢市立南小・ヨーケンスポーツクラブ(7月17日) 筑波大学附属中(7月18日) 駒込中・川口ラグビースクール(7月19日) 日本大学附属豊山中・ふじみ野市立駒西小・所沢市立若松小・長野盲学校(7月21日) 桐光学園・創価高・所沢市立北野小(7月21日、22日) 所沢市立北秋津小・所沢市立山口小・所沢市立北中小・桶川市立川田谷小・所沢市立中央小・川越市立霞ヶ関南小(7月22日) 所沢市立北小(7月22日、23日) 富士見市立関沢小・所沢市立椿峰小・所沢市立上新井小・霞ヶ関小・川越市立名細小・所沢市立美原小・富士見市立諏訪小(7月23日) 光塩女子学院中(7月24日、8月1日) 上尾市立大石北小(7月24日) 所沢市立荒幡小(7月25日) 中野区立中央中(7月26日) 光塩女子学院高等科(7月27日、8月5日) 富山県立福岡高(7月27日、28日) 川越市立城西西越中(7月28日) 飯山市立城南南中(7月29日) 東京都立足立西高(8月1日) 東京女子学園中・高(8月3日) 中野区立第五中(8月11日) スクールツアーシップ(8月15日~25日) 本郷中(8月21日) カナリーニョフットボールクラブ(8月22日) 中野区立南中野中(8月23日)

森でもりもり遊び隊/フォレストキッズ

春の遊び隊キャンプ(6月19日、20 遊び隊) 雨の日のクラフト(6月19日 フォレストキッズ) 森遊び(7月4日 遊び隊) 早朝の森ウォッチング(7月10日 フォレストキッズ)

イベント

やまぼうし原人キャンプ(8月10日~13日 長野)

委託

スイスホテル(6月2日 長野) 長和町 親子ふれあい教室(6月4日 長野) 新宿エコギャラリーイベント(6月5日 東京) 菅平高原カントリーフェスティバル(6月6日 長野) 丸子北中学校コスモス大学(6月17日、7月2日、8日、8月26日 長野) 市川市生涯学習課(6月17日 長野) 上田市教育委員会生涯学習課(6月19日 長野) 徳島観光(6月22日 長野) 黒川野外活動センターネイチャーボランティア(6月6日、7月4日、8月1日 東京) 家裁更生キャンプ(6月25日 東京) 長野大学外部評価委員会(6月30日 長野) JAF長野支店(7月25日 長野) サマーキャンプin信州(7月23日~8月25日 長野) SBC長野放送(7月28日 長野) ランドマークプラザ(7月31日 東京) 長野県環境保全研究所(7月31日 長野) 嬬恋インタープリター会(8月6日、27日 長野) 西東京市教育委員会(8月19日 長野) 新宿エコギャラリー・エコにトライ子ども樹木博士(8月22日 東京) 国立乗鞍青少年交流の家(8月26日 長野)